

ヒータ・強制通風ユニット

ヒータ・強制通風ユニット HD9906.51

- ▶ 日射計、夜間放射計、放射計用ヒータ+強制通風ユニット
- ▶ 過酷な気象条件下での精度維持・向上に役立ちます
- ▶ 動作温度-30~+70℃、気泡水準器付
- ▶ 供給電圧DC12V、通風ファン消費電力5W、ヒータ7W

ヒータ・強制通風ユニットHD9906.51は、太陽放射センサ(日射計、夜間放射計、放射計など)を収納し、屋外のあらゆる気象条件下で使用できるように設計されています。

当ユニットの強制通風によって日射計など測定器の温度を一定にし、特にセンサの光学部品の露や霜を防ぎ、測定器本体に対してガラスドームが冷えることによって起こるタイプAゼロオフセット(日射計や夜間放射計に付随)を軽減し、測定精度を向上させることができます。

また、非常に厳しい環境下では、ヒータを動作させることができ、日射計ガラスドーム上の着氷を防ぐことができます(ヒータ機能がONの時にはタイプAゼロオフセットが増加する可能性があります。これを考慮して、ヒータ機能は測定器表面の氷雪を取り除くために必要な時間のみ使用することをお勧めします)。

HD9906.51はセンセカ(旧デルタオーム)日射計LPPYRA02、LPPYRA10、夜間放射計LPPIRG01、放射計LPPHOT02、LPUVA02、LPUVB02に使用できます。

■ご注文コード

HD9906.51 ヒータ・強制通風ユニット、動作温度-30~+70℃、供給電源DC12V、必要電力(通風ファン:5W、ヒータ:7W)、長さ5mケーブル標準付属



CE

■テクニカルデータ

供給電源	通風ファンDC12V(5W)、ヒータDC12V(7W)
動作温度	-30~+70℃
重量	約2.3kg

■ヒータ・強制通風ユニットの組立てと取付け

日射計をヒータ・強制通風ユニットに取付けるには、以下の手順に従ってください。

- 1 ドーム状のカバーを固定しているナット3個を緩めます。
- 2 HD9906.51のカバーを外します。
- 3 白色の遮蔽板を日射計から取外します。
- 4 レベル調節ネジを日射計本体から取外します(必要であれば、HD9906.51の調整ネジで高さが調整できます)。
- 5 M5ネジ2個を使用して日射計をヒータ・強制通風ユニットに取り付けます。
- 6 日射計のケーブルが正しく接続されている事を確認してください。
- 7 HD9906.51のカバーを再び定位置に戻し、ネジでしっかりと固定します。

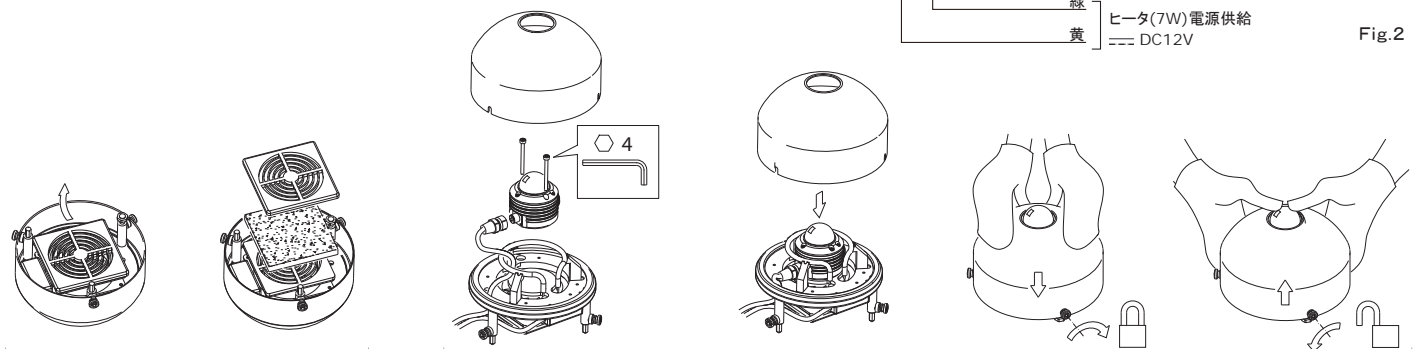
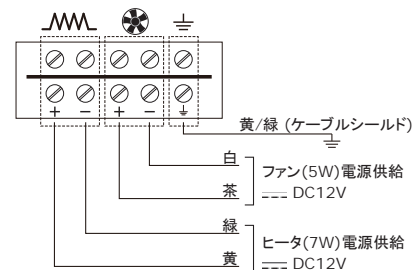
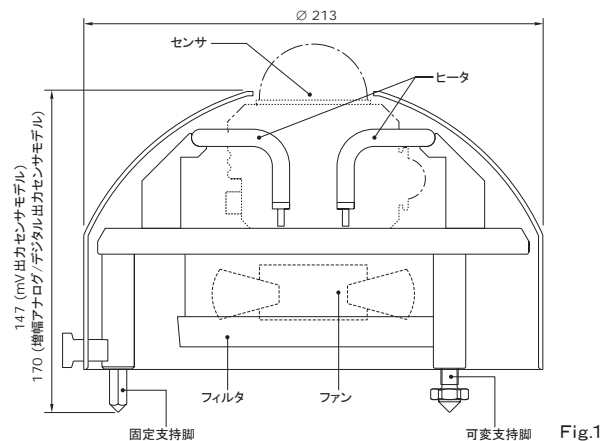
日射計はヒータ・強制通風ユニットに長さM5×60mmのネジ2個で固定します。正確な日射量の測定を行うには、HD9906.51を水平に設置する必要があります。ヒータ・強制通風ユニットの基板にある気泡によって水準を調整してください。

HD9906.51の電気的接続部は基板の下に位置しています。2組の端子があり、1組は強制通風用、もう1組はヒータ用です。

通風ファンの極性に注意してください。極性を間違えると、空気の流れが本来の方向と逆になります(底部から上部)。

Fig.2は対応する端子とそれぞれのケーブルを示しています。

フィルタは定期的にチェックし、汚れている場合は取り替える必要があります。



フィルタ清掃のための取外し方

取付手順